

# 中学校国語

## 授業アイデア例③

板書などを工夫して、情報と情報との関係を視覚的に捉えられるようにしましょう。

小・中全学年で適用可能

学年・領域	第2学年・読むこと
単元	君は「最後の晚餐」を知っているか
実施時期	11月頃

情報：思考のレッスン1 具体と抽象 教科書(P.52)  
 読むこと：「君は『最後の晚餐』を知っているか」  
 教科書(P.170～)

### 【学習活動】

1 前時の学習内容をペアで説明し合い、筆者の「最後の晚餐」の見方を振り返る。

2 本時の課題と課題達成の姿を確認する。

文章の構成における工夫を考えよう。

3 「解剖学」「遠近法」「明暗法」の特徴や例示の効果を捉える。

※ 板書を工夫することで、「具体と抽象の関係」を視覚的に捉えることができます。

4 文章の構成の仕方について考える。

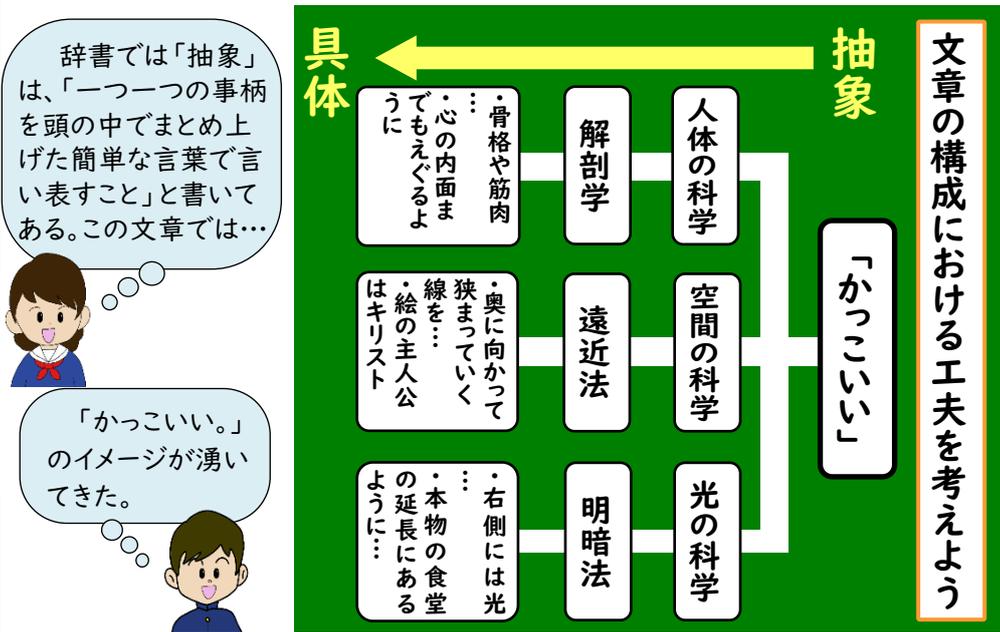
5 筆者が「最後の晚餐」を「カッコいい。」と思った理由とその根拠の示し方についてまとめる。

### 【学習活動3において】「具体」と「抽象」の関係を黒板に整理する

筆者は、どのような例示(具体)を基に、「最後の晚餐」を「カッコいい。」(抽象)と述べているのだろう。



### 文章を構造的に捉えることができるように板書を工夫する



### 【学習活動4において】 発問により、本時の課題に迫る

筆者は、なぜ、このような構成にしたのだろう。



「カッコいい。」という考えに納得できるようにするためだと思います。はじめに「抽象的な表現・印象(=カッコいい。)」を提示し、その上で「具体」を説明することで、筆者が「カッコいい。」と思う理由が一つずつ明らかになっています。その繰り返しの構成があるから、筆者の考えに納得できます。



### どうしてこの指導が大切なのか

文章から抜き出した言葉(情報)を観点に沿って比較、分類、関係付けながら整理することで、情報と情報との関係を視覚的に捉えることができ、理解が深まるからです。ICT を活用して情報を整理することも効果的です。

「思考のレッスン1 具体と抽象」の学習を思い起こしながら、「具体」「抽象」という語の意味やその内容(情報)がどう扱われているのかを考えましょう。

○中学校報告書【コラム①】P.24、【コラム③】P.54 の「[知識及び技能]の位置付けの工夫」もぜひ御覧ください。



【コラム①】



【コラム③】